

# 月の吉方・凶方

年の吉方・凶方と同じく、開山・立向・修方に関する吉凶方位は、月にもめぐつてきます。ここでは月毎の方位を解説します。

それぞれの表と照らし合わせ、いつ、どの方位にめぐつてくるか確認して下さい。表は新暦の月を自安に作成しておりますが、正しくは二十四節気を境に動きますので注意して下さい。

## 【開山立向修方吉】

土地の購入、開発、新築、増改築、補修、

旅行、赴任、転勤、留学、移転などのいかなる目的にも適した方位です。凶方と重なつても、凶作用を転化し、軽減させる働きがあります。年の吉方と重なれば、さらに効果は大きくなります。

### 天道・天徳

天の運行にしたがい、天の福徳に沿せる方位です。天然自然の働きはあらゆるものに恵みを与え、育成し、調和させるように、この方位は「禍転じて福となす」ものとされています。吉方の氣を扶助し、凶方の氣を転化する

妙用（みょうゆう）があります。天道は45度、天徳は15度の範囲に吉作用を及ぼします。天道は広い範囲なだけ作用は緩やかで、天徳は狭い範囲なだけ作用は強いでしょう。

天徳合（てんとくごう）天徳と合する方位で、新居を構

を教し、山川に祈禱し、神仏に祈請するのに宜しいとされています。12カ月中に8カ月めぐつてきます。



【表1】開山立向修方吉

新暦月	二十四節氣	大節	開山立向修方吉									月紫白										
			天道			天徳			天徳合			月徳	月徳合	月空	陽貴人	陰貴人	飛天祿	飛天馬	一白	六白	八白	九紫
			天道	天徳	天徳合	月徳	月徳合	月空	陽貴人	陰貴人	飛天祿	飛天馬	一白	六白	八白	九紫						
1	小寒	小寒～立春	西	庚	乙	庚	乙	甲	中	中	震	乾	乾	坤	巽	中						
2	大寒	立春	南	丁	壬	丙	辛	壬	乾	坤	離	艮	兌	震	中	乾						
3	雨水	啓蟄	西南	坤		甲	己	庚	中	坎	艮	兌	艮	巽	乾	兌						
4	惊蟄	春分	西北	壬	丁	壬	丁	丙	巽	離	兌	乾	離	中	兌	艮						
5	清明	穀雨	北	壬	壬	壬	壬	甲	震	艮	乾	中	坎	乾	艮	離						
6	立夏	小滿	立夏～芒種	西	辛	丙	庚	乙	壬	坤	兌	中	坎	兌	離	坎						
7	小滿	芒種	西北	乾		丙	辛	壬	坤	兌	離	艮	艮	離	坎	坤						
8	夏至	小暑	東	甲	己	甲	己	庚	坎	乾	坎	離	艮	巽	坎	震						
9	小暑	大暑	立秋	甲	己	甲	己	庚	坎	乾	離	艮	離	艮	巽	坤						
10	大暑	立秋	北	癸	戊	壬	丁	丙	離	中	離	艮	艮	乾	離	坤						
11	处暑	白露	東北	艮		庚	乙	甲	艮	坎	艮	乾	中	巽	乾	艮						
12	白露	秋分	東南	丙	辛	丙	辛	壬	兌	離	兌	乾	中	巽	乾	兌						
			寒露	寒露～寒露	南	丙	辛	丙	辛	壬	兌	離	艮	離	巽	中						
			霜降	霜降～立冬	東	乙	庚	甲	己	庚	乾	艮	乾	艮	巽	中						
			立冬	立冬～大雪	小雪	大雪	大雪～小寒	巽	壬	丁	丙	中	兌	艮	巽	乾						

\*注意=上表中「立春～啓蟄」とは、立春から啓蟄の前までという意味。「戊」「己」は太極周辺のこと。

**月徳** 月徳はもと月陰で、無徳なので陽

て陽子につくという性質があります。すべて陽子の接待に宜しいとき、天徳に比べて穏やかな吉作用を及ぼします。

**月徳合** 五行の精が会合するもので、衆悪みな消え、百福並び集まる德があり、神仏を祭り、家屋を建てるのに宜いとされています。

**月空** またの名を天空といい、月徳と相対する方位で仇敵とします。策略、計略、諫言をするのに有利とされています。

**陽貴人・陰貴人** 人の方位で、凶作用を解き、吉なる慶びをもたらす方位です。この方位は年の方位もありますから混同しないでください。

**飛天禄** 「通書」に「禄ガ山頭ニ至レバ子孫ハ旺(さか)ンナリ」とあり、健康や子供に恵まれる吉方位です。年の吉方と重なれば吉作用は倍加します。今年は奏書と啓鑿過ぎに艮方で逢い、白露過ぎにも艮方で逢います。凶作用を解く働きがあるとされています。

**飛天馬** 「通書」に「馬ガ山頭ニ至レバ人ハ富貴トナル」とあり、商売や

交易に有利な吉方位です。飛天禄と同様に年

の吉方と重なるのを喜びます。凶方の災いを解く働きがあるとされています。

**月紫白** 一白・六白・八白・九紫の四星は奇門遁甲の休門・生門・開門・景門と同義であり、紫白九星といわれる由縁です。

基本的に吉方として、誰でも使用できます。この点は氣学とは大いに異なるところです。

**三奇** 乙・丙・丁を天三奇といい、よ

く凶作用を抑え、移転、入居、補修、増改築、嫁入りなどに適した方位です。

## 【開山凶】

土地開発、動土、新築、普請などに適さない方位です。

**月建** すなわち、干支暦のその月を表わす十二支の示す方向です。立春を過ぎ、寅月に入れば寅方、啓鑿を過ぎ、卯月に入れば卯方が月建になります。戦闘、攻伐、動土、造営、親戚との親睦に用いるべからずとされています。

**月破** 月建の真反対の十二支に位置しましていません。衝動、破談、決裂、対立、離別などをつかさどり、物事が成立しない、ご破算になるという結果を招きます。

**月剋山家** 月建が年の納音(なつちん)

を通じて毎月めぐつてくるわけではありませんが、動土、補修、増改築は忌みません。

[表2] 三奇・開山凶

新暦月	二十四節気	大節	開山立向修方吉			大節	開山凶				
			三奇				月建	月破	月剋山家	陰府太歲	
			乙	丙	丁						
1	小寒 大寒	冬至～立春	兌	艮	離	小寒～立春	丑	未		兌乾	
2	立春 雨水	立春～春分	中	中	乾	立春～啓鑿	寅	申	乾兌	坎坤	
3	春分 清明	春分～立夏	離	離	坎	啓鑿～清明	卯	酉	亥丁	乾離	
4	穀雨	立夏～小滿	坎	坎	坤	清明～立夏	辰	戌	震巳	坤震	
5	小滿 芒種	立夏～夏至	坎	坎	坤	立夏～芒種	巳	亥	艮	巽艮	
6	夏至 小暑	夏至～立秋	震	震	坤	芒種～小暑	午	子		乾兌	
7	小暑 大暑	立秋～立秋	震	震	坤	小暑～立秋	未	丑		坤坎	
8	立秋 处暑	立秋～秋分	中	中	巽	立秋～处暑	申	寅	水山	離乾	
9	白露 秋分	秋分～立冬	坎	坎	離	处暑～白露	酉	卯	土	震坤	
10	寒露 霜降	立冬～立冬	坎	坎	離	白露～寒露	戌	辰	乾兌	艮巽	
11	立冬 小雪	立冬～冬至	離	離	艮	寒露～立冬	亥	巳	亥丁	兌乾	
12	小雪 大雪	冬至～立春	兌	兌	艮	大雪～小寒	子	午	離丙	坎坤	

\*注意=上表中「立春～啓鑿」とは、立春から啓鑿の前までという意味。「水山」とは南を向き北に坐す方向のこと。「土」とは、東北を向き西南に坐す、又は西南を向き東北に坐す方向のこと。

\*納音とは六十干支に五行（木火土金水）を配当したもの。

**陰府太歲**

本年の坐山を剋す化氣をい  
い、必ず毎月二つの方向に  
めぐります。土地開発、動土、新築には適し  
ませんが、増改築、補修は忌みません。

**修方凶**

建築、改革、補修に適さない方位です。

**天官符・地官符**

太歳の三合五行  
方（今年は午・  
戌）の旺氣に当たる方位で、建築や補修をす  
るべからずと説かれ、これを犯すと訴訟、不  
和、対立などの争いに巻き込まれるといわれ  
ています。

小月建 俗に小兒殺という。年（戊）都  
天殺（五黄殺に次ぐ凶方）でもあ  
り、これを犯せばその家の子供に災いが及ぶ  
とされています。補修、増改築に適しません。

**月害**

月の土氣殺であり、これを犯せ  
ば家の主人に災いが及ぶとされ  
ています。動土、補修、増改築に適しません。  
注意すべきは、大月建と小月建が重なるか、  
戊（都天）や五黄が中宮に入る時です。今年は  
芒種を過ぎて、1ヶ月間は大小月建が東南方  
45度の方位で重なります。

飛大殺 ひだいさつ またの名を打頭火といい、そ  
年の三合の旺方にあたり、補修、

**丙丁獨火**

火星の凶作用をもたらす方  
とも忌みます。

丙丁獨火 火星の凶作用をもたらす方  
位で、丙丁の火気より発す  
る所に当たり、増改築、補修に適しません。

ただし、年の獨火・飛大殺と重なると凶意を  
増します。

**月遊火**

來年の太歳の進氣方の旺支であ  
り、年の獨火や飛大殺・丙丁獨  
火と重なると災いを発しますが、凶方と重な  
らなければ妨げはないとします。

**月三殺**

年の三殺と同義で、増改築、補  
修に適さず、これを犯せば災禍  
はたちどころに及ぶとされています。年の三  
殺と重なると凶意は甚大となります。劫殺、  
災殺・月殺があります。

**月刑**

年の歳刑と同義です。

**月厭**

自然な和合の妨害をつかさどり、  
かつて攻城、野戦、放牧、縁談、  
治療、使用人を雇うことの忌むとされました。

月厭 治療 使用人を雇うことの忌むとされました。  
遠方への旅、移転、補修、改革

嫁入りに適さず、この方位にて災  
いを祓い、福を祈り、疾患を除くに宜しいと  
されています。

[表3] 修方凶

新曆月	二十四節氣	修 方 凶												
		天官符	地官符	小月建	大月建	飛大殺	丙丁獨火	月遊火	劫殺	災殺	月殺	月刑	月害	月厭
1 小寒	小寒～立春	丙離丁	壬坎癸	庚兌辛	丙離丁	壬坎癸	乾兌	中	寅	卯	辰	戌	午	亥
2 立春	立春～啓蟄	中	壬坎癸	丙離丁	丑艮寅	戊乾亥	中乾	巽	亥	子	丑	巳	巳	戌
3 春分	啓蟄～清明	庚兌辛	丙離丁	壬坎癸	庚兌辛	中	中	中	申	酉	戌	子	辰	酉
4 清明	清明～立夏	戊乾亥	丑艮寅	未坤申	戊乾亥	庚兌辛	巽中	乾	巳	午	未	辰	卯	申
5 立夏	立夏～芒種	中	庚兌辛	甲震乙	中	戊乾亥	震巽	兌	寅	卯	辰	申	寅	未
6 小滿	芒種～小暑	辰巽巳	戊乾亥	辰巽巳	辰巽巳	中	坤震	艮	亥	子	丑	午	丑	午
7 夏至	小暑～立秋	甲震乙	中	中	甲震乙	辰巽巳	坎坤	離	申	酉	戌	丑	子	巳
8 大暑	立秋～白露	未坤申	庚兌辛	戊乾亥	未坤申	甲震乙	離坎	坎	巳	午	未	寅	亥	辰
9 白露	白露～寒露	壬坎癸	戊乾亥	庚兌辛	壬坎癸	未坤申	艮離	坤	寅	卯	辰	酉	戌	卯
10 寒露	寒露～立冬	丙離丁	中	丑艮寅	丙離丁	壬坎癸	兌艮	震	亥	子	丑	未	酉	寅
11 立冬	立冬～小雪	丑艮寅	辰巽巳	丙離丁	丑艮寅	丙離丁	乾兌	巽	申	酉	戌	亥	申	丑
12 小雪	小雪～大雪	大雪～小寒	庚兌辛	甲震乙	壬坎癸	庚兌辛	丑艮寅	中乾	中	巳	午	未	卯	未

\*注意：上表中「立春～啓蟄」とは、立春から啓蟄の前までという意味。